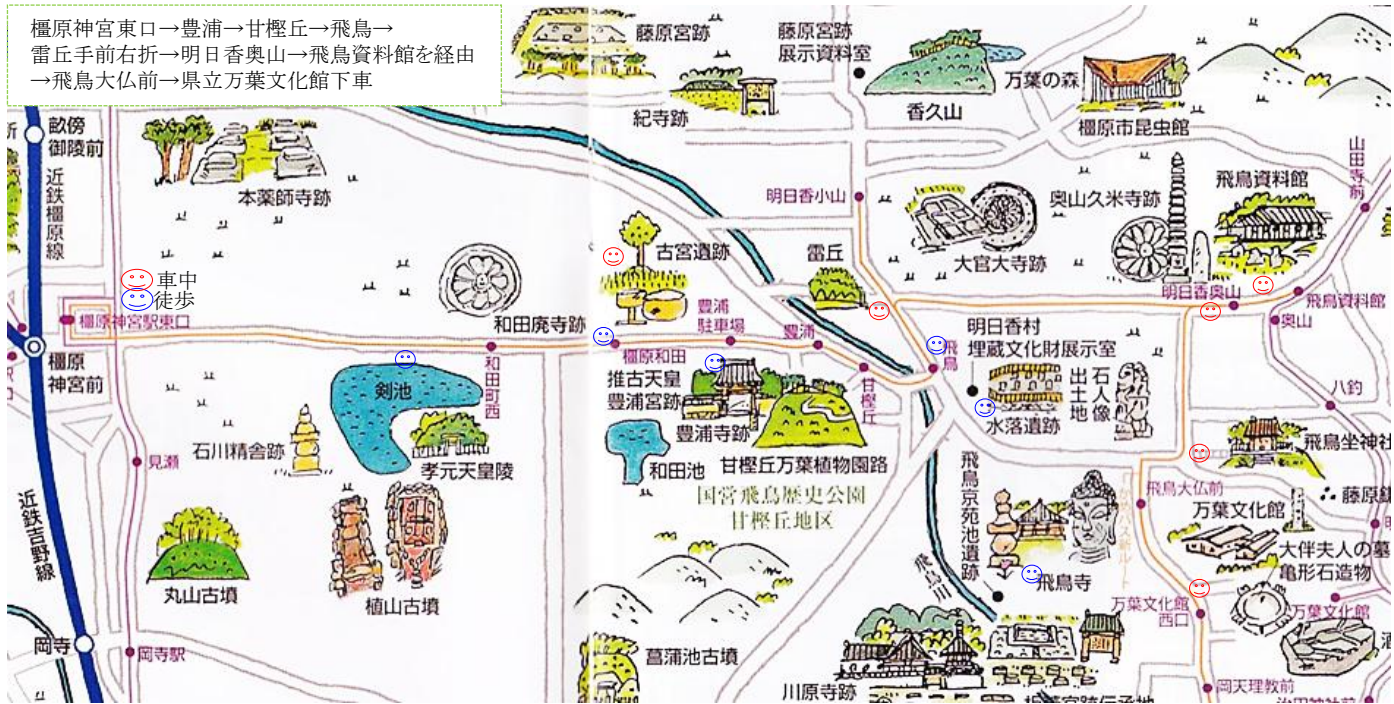


橿原神宮前バス乗車—万葉文化館下車—飛鳥寺—水落遺跡—歌碑—飛鳥川—豊浦寺跡—古宮遺跡—剣の池(歌碑)—橿原神宮前

橿原神宮東口→豊浦→甘樫丘→飛鳥→
雷丘手前右折→明日香奥山→飛鳥資料館を經由
→飛鳥大仏前→県立万葉文化館下車



古宮遺跡



雷丘 手前右折



飛鳥資料館をユーターン



畝傍山

文化館の中



富本銭が見つかった場所



飛鳥池工房跡



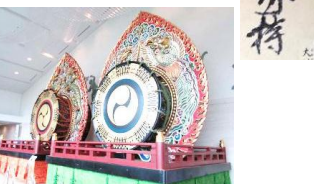
木簡



古代著名人の筆跡



役人は忙しい



春日大社造替の為 預かり中



万葉文化館に到着



飛鳥坐神社 右折



お二人が帰られた後で



文化館から出てきて、板葺宮跡方面を見えています。



文化館から飛鳥寺の西側に向かって歩く
 * 中臣鎌子が槻木の下で中大兄の沓を差し出した
 * 壬申の乱では近江方の穂積臣百足が飛鳥寺の西に軍営を設けた。
 * 斉明天皇3年(657)7月 須弥山の像を飛鳥寺の西に作った
 * 客人に歌舞を披露する場でもあった。
 =先生の今日の講座より

明日香川
 川淀去らず
 立つ霧の
 思ひ過ぐべき
 恋にあらなくに
 山部赤人
 卷1-325

巻1-324長歌と短歌

西側から見た飛鳥寺



途中の 飛鳥寺瓦窯跡

首塚の西の方から
 石敷きと
 大きな穴の跡が
 見つかっていますが
 槻木の跡は
 まだ解りません
 飛鳥寺北側の道
 辺りも槻木の
 広場と思われま



入鹿の首塚



槻木の広場があったとみられる 飛鳥寺西方遺跡

飛鳥寺北側の道 1

飛鳥寺西側の この辺りも 2



天香久山



今日もかも
 明日香の川の
 夕さらず
 河蝦鳴く瀬の
 清けくあるらむ
 上古麻呂
 犬養孝書
 卷3-356



水落遺跡



明日香川沿いに豊浦寺跡へ



孝元天皇陵

剣池畔にイメージとして?

軽池の
 浦廻りき廻る
 鴨すらに
 玉藻の上に
 ひとり寝なくに
 紀皇女
 卷3-390



途中で咲いていた 紫陽花と 躑躅



榎原神宮前駅到着

